

7月度 訪日外国人旅行客の動向（関西*）

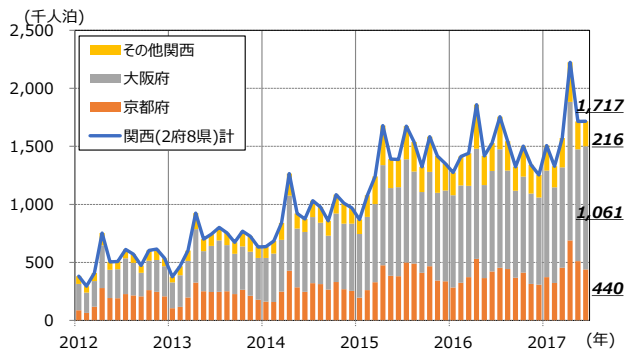
〇7月の外国人入国者数は、65万5,140人で、前年比+13.0%と5カ月連続で増加。上昇トレンドが続く。国籍別（6月）では、増便による利用者数増加を背景に、韓国からの入国者数が17.2万人と最も多かった。

〇7月の関西地区の百貨店免税売上高は+89.8%と9カ月連続で増加。アジアからの訪日外国人の消費が堅調で売上高、件数ともに過去最高を更新した。単価も3カ月連続で増加しており、訪日外国人観光客による消費は好調である。

(1) 外国人延べ宿泊者数の推移

6月の関西の外国人延べ宿泊者数は、171.7万人泊となり、前年同月比+12.3%と4カ月連続で増加した。府県別にみると、大阪府で106.1万人泊、京都府で44.0万人泊、その他関西で21.6万人泊であった。

外国人延べ宿泊者数(2017年6月まで)

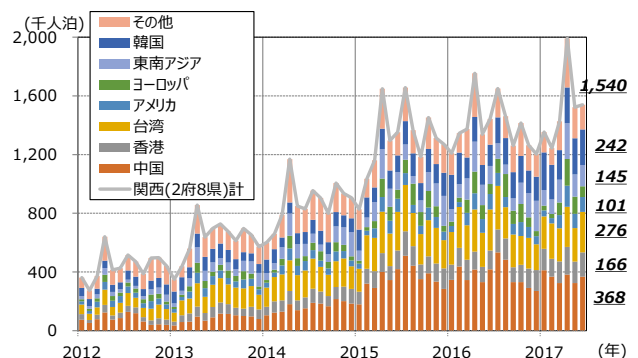


(注) 2017年の値は速報値
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

(2) 国籍別外国人延べ宿泊者数

6月の関西の外国人延べ宿泊者数を国籍別にみると、最も多かったのは、中国で36.8万人泊(前年同月比-12.0%)、次に台湾で27.6万人泊(同-0.9%)、韓国で24.2万人泊(同+67.4%)、香港で16.6万人泊(同+28.6%)、アメリカで10.1万人泊(同-4.4%)となっていた。

国籍別外国人延べ宿泊者数の推移(2017年6月まで)



(注) ヨーロッパはイギリス、ドイツ、フランス、ロシア、イタリア、スペインの合計。東南アジアはシンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピンの合計。従業員数10人以上の施設。
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

国籍別外国人延べ宿泊者数(2017年6月)

(単位: 人泊, %)

順位	国名	宿泊者数	構成比	全国シェア	前年比
1	中国	367,890	23.9	28.4	-12.0
2	台湾	276,380	18.0	28.0	-0.9
3	韓国	242,160	15.7	28.2	67.4
4	香港	165,570	10.8	31.9	28.6
5	アメリカ	101,450	6.6	20.8	-4.4
6	インドネシア	35,240	2.3	31.0	84.9
7	シンガポール	33,860	2.2	20.4	16.7
8	オーストラリア	31,200	2.0	29.3	13.8
9	タイ	28,740	1.9	21.2	-11.6
10	フィリピン	21,290	1.4	37.1	-2.0

(注) 2017年の値は速報値。従業員数10人以上の施設。
各項目の計算方法については下記の通り。
構成比 = 当該国の宿泊者数 ÷ 関西の合計宿泊者数
全国シェア = 関西で宿泊した国籍別外国人宿泊者数 ÷ 全国の国籍別外国人宿泊者数
前年比 = (当月の国籍別宿泊者数 ÷ 前年の国籍別宿泊者数 - 1) × 100
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

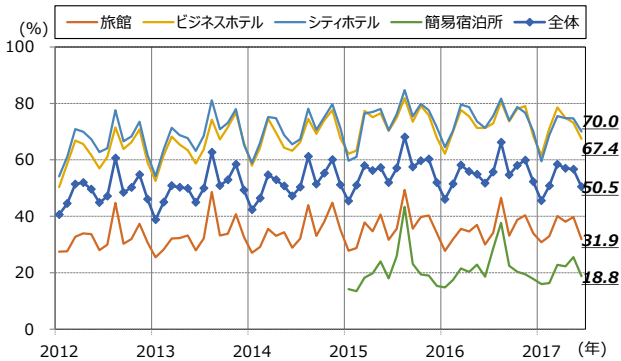
(3) 宿泊施設タイプ別客室稼働率

6月の関西の客室稼働率は全体で50.5%となり、前年同月と比べて-1.3%ポイントと、4カ月ぶりに下落した。タイプ別にみると、最も稼働率が高かったのはシティホテルで70.0%、次にビジネスホテルが67.4%、旅館は

*本レポートでは、特に断らない限り、関西とは、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県の2府8県としている。

31.9%、簡易宿泊所は 18.8%であった。

宿泊施設タイプ別客室稼働率の推移(2017年6月まで)



(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」(下図も同様)

府県別宿泊施設タイプ別客室稼働率(2017年6月)

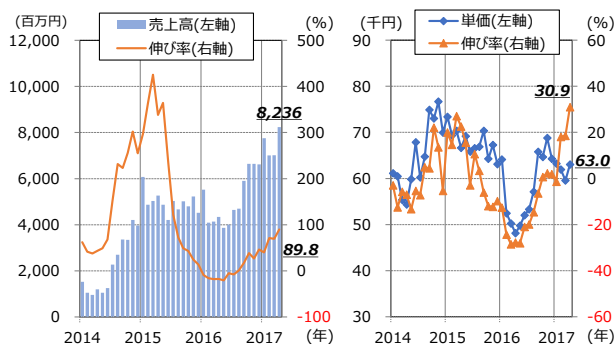
(単位: %)

	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	徳島	福井	三重
全体	50.5	51.0	65.2	80.6	52.4	44.2	37.7	45.9	47.4	34.6	45.5
旅館	31.9	39.1	42.1	43.9	31.0	28.5	26.5	29.0	24.7	24.9	29.1
リゾートホテル	53.2	62.5	50.0	88.0	52.9	53.4	41.4	56.9	68.2	15.9	43.2
ビジネスホテル	67.4	59.7	80.7	82.7	74.3	57.0	59.5	65.1	69.4	65.1	60.6
シティホテル	70.0	70.6	80.5	88.0	68.1	76.4	64.9	73.6	55.9	48.2	73.8
簡易宿泊所	18.8	18.4	31.4	54.4	10.6	19.7	19.1	13.3	9.8	5.3	6.4
会社・団体の宿泊所	16.9	18.4	30.0	44.2	23.2	3.3	14.9	2.9	10.4	9.1	12.5

(4) 百貨店免税売上の推移

7月の関西地域の百貨店免税売上高は、82.4億円となり、単月ベースで過去最高額を更新した。前年同月比では+89.8%で9カ月連続の増加。アジアからの訪日外国人の消費が堅調で、件数も13万673件とこちらも過去最高であった。また、単価も63,028円で同+30.9%と3カ月連続で増加。外国人観光客による消費は好調である。

百貨店免税売上高と単価の推移(2017年7月まで)



(注) インバウンド需要の観点から主要とみられる大阪、京都、神戸の百貨店各店舗における外国人旅行者などの非居住者による消費税免税物品の購入額および件数(免税申請ベース)。

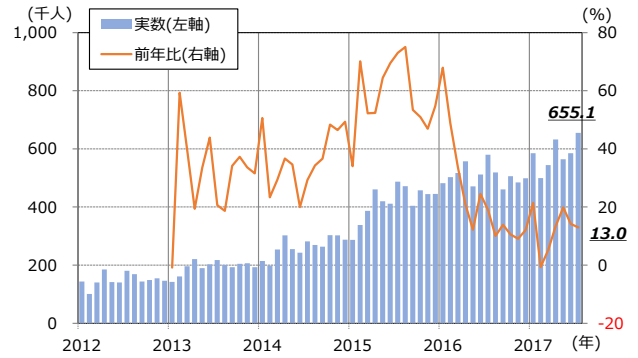
(出所) 日本銀行大阪支店「関西地区百貨店免税売上」

(5) 関西国際空港の利用状況

① 関西国際空港における入国者数

7月に関西国際空港を利用して入国した外国人の数は、過去最多の65万5,140人で、前年同月比+13.0%と5カ月連続で増加しており、上昇トレンドが続いている。

外国人入国者数と伸び率の推移(2017年7月まで)



(出所) 一般社団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

② 国籍別の関空訪日外客数

関空訪日外客数を国籍別にみると、6月は韓国からの入国者数が17.2万人と最も多く、次いで、中国(香港除く)が13.7万人、台湾が10.9万人、香港が6.6万人であった。中でも韓国は前年同月比で+41.0%、香港は同+30.9%と大幅に伸びており、増便により利用者数が増加したことが背景にある。

また、他のアジア各国からの入国者数は、タイが1.2万人、マレーシアが1万人、インドネシアが9千人、フィリピンが9千人、ベトナムが4千人であった。

他地域を見ると、英国が3千人、フランスが3千人、ドイツ2千人、米国が1.6万人、オーストラリアが4千人であった。

国籍別訪日外客数(2016年7月~2017年6月)

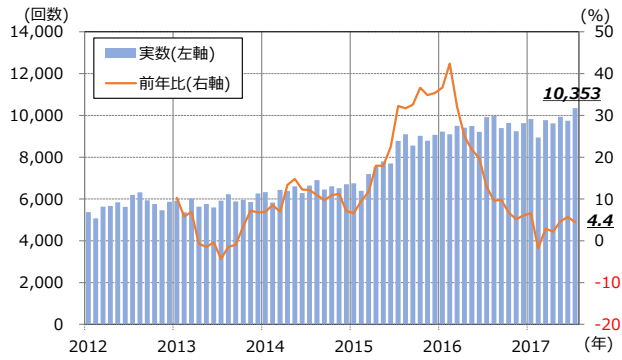
		(単位: 千人)															
年	月	全体	韓国	台湾	香港	中国	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム	英国	ドイツ	フランス	スペイン	米国	豪州
2016	7	579	149	107	54	176	14	6	7	6	4	4	2	4	3	13	3
	8	519	149	85	48	160	8	4	3	6	3	4	2	4	4	11	2
	9	460	129	88	35	121	10	8	4	5	3	3	3	3	3	11	6
	10	506	137	87	45	111	24	11	6	11	5	4	4	6	3	13	5
	11	484	125	90	47	107	24	16	6	10	3	3	2	3	1	11	5
	12	498	142	75	56	98	23	19	9	13	3	3	1	2	1	11	7
2017	1	585	186	91	56	163	15	11	6	10	4	3	1	2	1	9	7
	2	499	175	91	40	122	16	9	4	7	4	2	2	2	0	6	4
	3	544	140	96	52	130	24	15	9	10	7	4	3	4	1	13	5
	4	632	166	105	65	129	36	15	11	17	9	5	3	7	2	15	9
	5	564	164	99	55	125	22	12	6	13	4	4	3	5	2	14	5
	6	585	172	109	66	137	12	10	9	9	4	3	2	3	2	16	4

(出所) 法務省「出入国管理統計」

(6) 関空国際線航空機発着回数

7月の国際線の発着回数(旅客便)は10,353回(同+4.4%)と5カ月連続の増加で、過去最高を更新した。1994年9月の開港以来、初めて1万回を上回った。

関空国際線航空機発着回数(旅客便, 2017年7月まで)



(出所) 関西エアポート株式会社「関西国際空港・大阪国際空港利用状況(速報値)」